

(臨床研究に関する公開情報)

岡山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

小児頭部外傷予後を予測する因子についての研究

[研究責任者]

脳神経外科 医長 福原 徹

[研究の背景]

頭部打撲小児において、受診時に意識レベルがほぼ正常で、骨折、頭蓋内出血を認めない場合は、当院では入院適応としていないが、親族の希望等により入院となる場合もある。また頭蓋骨骨折を認めた場合には入院を勧めているが、その必要性ははっきりしていない。これらの症例の入院経過より、経過観察入院の必要性について検討する。

[研究の目的]

頭部打撲小児において、経過観察入院の必要性について検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦2007年4月から西暦2018年4月までの期間に小児頭部打撲で岡山医療センター脳神経外科に入院をされた方

●研究期間

当院の臨床研究審査委員会承認後、研究実施許可日から西暦2019年6月30日

●利用するカルテ情報

カルテ情報：

- 患者さんの基本的な情報
(年齢、性別、入院時意識状態、身体所見)
- 入退院時、頭部CT上での頭蓋骨骨折、頭蓋内出血の有無
- レントゲン検査結果
(骨強度など)
- 血液検査結果
(CBC、白血球分画、Hgb、血小板数、CRP等)

- ・治療
(投薬、投与薬剤などの内容および期間)

●情報の管理

情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者脳神経外科 医長 福原 徹が責任をもって適切に管理いたします。この調査へのご自分の診療記録の使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。その場合は担当者にお申し出ください。

[問い合わせ先]

【研究責任者】

脳神経外科 医長 福原 徹

【研究分担者】

脳神経外科 医師 青井 瑞穂

脳神経外科 レジデント 堀 佑輔

脳神経外科 専修医 胡谷 侑貴

国立病院機構岡山医療センター

〒701-1192 岡山市北区田益 1711-1

電話：086-294-9911 FAX：086-294-9255